

様式第8号（第8条関係）

(議員用)・会派用)

政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

令和6年4月30日

八尾市議会議長

田中 慎二 様

議員名又は会派名とその代表者名

露原 行隆

条例第13条第1項の規定により、令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入 (単位：円)

項 目	金 額
政 務 活 動 費	770,000

2 支出 (単位：円)

項 目	金 額
支 出	調査研究・研修費 29,520
	資 料 作 成 費
	資 料 購 入 費
	広 報 費
	広 聴 費
	日 常 活 動 費
	人 件 費
	事 務 所 費
	事 務 費
	合 計 29,520

3 収入支出差引残額（返還額）

740,480円

注) 支出が収入を上回る場合は、残額欄には0円と記載のこと。

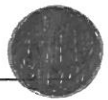
様式第15号（第9条関係）

政務活動費における活動報告書

令和5年度の政務活動の内容は、収支報告書のとおりであります。そのうち、主要な政務活動内容の概要については、別紙のとおりでありますので条例第14条第1項及び条例施行規程第9条第1項の規定に基づき簡潔に報告いたします。

議員名又は会派名とその代表者名

露原 行隆



令和5年度 政務活動費における活動報告書

露原 行隆

令和5年度の主要な調査研究活動について下記のとおりご報告致します。

【テーマ・目的】

・不登校について～教育の当たり前を見直す～

近年様々な対策が講じられているものの、不登校が尚も増え続けている状況を鑑み、そもそも学校に通うのが当たり前で不登校は当然解決されるべき問題行動であるという社会の雰囲気、当事者をさらに追い詰め、状況を複雑化、あるいは深刻化させてしまうこともあるのではという仮説のもと、学校教育のあり方を根本的に見直す必要性を考える。

【活動概要】

・東京シューレ葛飾中学校を視察

長く運営されたフリースクールを前身として、現在文科省が推進する不登校特例校（現在の学びの多様化学校）を運営される、学校法人東京シューレ学園東京シューレ葛飾中学校を視察。

冒頭に建学以前は公立の教員を務められた学園長の奥地圭子先生より不登校を取り巻く社会環境の変遷や教育機会確保法の意義を伺い、また学校での取り組みや生徒たちの様子についてインタビュー動画を交えて説明頂いた後、校内を隈なく見学し生徒や先生方の様子をつぶさに目にする。

【成果・課題】

元気な挨拶と笑顔で迎えてくれる生徒や、中には嬉しそうな表情で自分から話しかけてくれる生徒と触れ合う中で、不登校に対する課題認識が大きく転換されると同時に自分自身の仮説の一定の有意性を確認する。

視察を通じて得た知見を踏まえて、令和5年12月定例会及び令和6年3月定例会にて個人質問を行い課題認識の共有を図る。

標準1015時間のおよそ7割（770時間）の授業時数での大学への進学など、いわゆる学力面での成果も出す学びの多様化学校について、学校教育のあり方を根本から見直す観点から、八尾市における設立に向けて今後も提案する。